

# 収穫後の近赤外光照射が農産物の 品質に及ぼす影響

野村朋江・政岡由紀・宮崎清宏

Effects of postharvest near infrared light exposure on quality  
of agricultural product

Tomoe Nomura, Yuki Masaoka and Kiyohiro Miyazaki

## 要約

収穫後の農産物への近赤外光(波長 850nm, 光強度  $100\text{W m}^{-2}$ )照射処理について検討し, 以下の試験結果を得た.

1. ナスでは60秒または180秒間, 米ナスでは10秒間照射すると, 果皮, 果梗および萼片の褐変が抑制されたが, ナスで480秒, 米ナスで30秒間照射すると褐変が増加した.
2. シントウに30秒間照射すると, へた腐病の発生が抑制された.
3. ミョウガに30秒間照射すると, 腐敗の発生が抑制された.
4. ニラに15秒, 20秒, 30秒間照射すると, 黄化の発生が抑制された.
5. ユズに8秒間照射すると緑かびおよび青かび病の発生が抑制された.
6. 切り花ではソリダスターに10秒または30秒間照射すると品質保持日数が約2日延長したが, ダリア, ユリ, グロリオサ, ブルースターは影響がなかった.

キーワード: 近赤外光, 品質保持, 収穫後処理